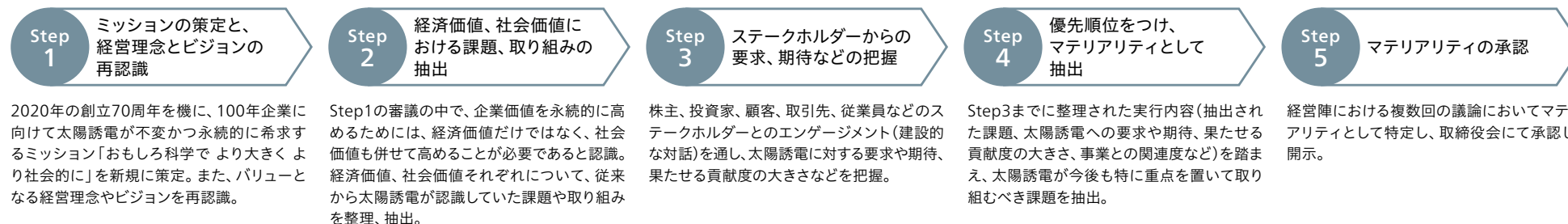


マテリアリティ

太陽誘電は、ミッション「おもしろ科学で より大きく より社会的に」を達成するために、様々な課題の中からより重要なものをマテリアリティ(重要課題)として特定しています。2026年度にスタートした中期経営計画2030においては、経済価値、社会価値それぞれについて、マテリアリティにひも付く重点施策や経営指標を定めて取り組みを進めています。

マテリアリティ(重要課題)の特定プロセス



マテリアリティと重点施策

分類		マテリアリティ(重要課題)	中期経営計画2030における重点施策	中期経営計画2030における経営指標		関連ページ
				項目	目標	
経済価値		基幹事業成長のためのコア技術の強化 社会課題に応える先進的な商品とソリューションの創出	商品戦略 高付加価値商品の販売拡大により、コンデンサ、インダクタ、その他の全区分において売上拡大	売上高	4,800億円	中期経営計画2030 営業概況
				営業利益率	15%	
			市場戦略 注力すべき市場(情報インフラ・産業機器+自動車)の売上比率を60%へ	ROE	15%	
				ROIC	10%	
社会価値	(E) 環境	気候変動への対応強化	数値目標を掲げて取り組みを加速	カーボンニュートラル	2050年度達成(Scope1+2)	環境への取り組み
		資源の有効活用と循環型社会構築への貢献		再生可能エネルギー導入率	2040年度100%	
				GHG Scope1+2排出量	2030年度42%削減(2020年度比)	
				GHG Scope3排出量	2030年度25%削減(2021年度比)	
	(S) 社会	安全第一な職場で健康経営と働き方改革を実現	重篤労働災害発生件数	ゼロ(2026年度～2030年度)	安全衛生	
		ダイバーシティを基盤とした人材の開発と育成				
	(G) ガバナンス	ステークホルダーからの信頼を高めるガバナンス	—	—	コーポレートガバナンス リスクマネジメント・コンプライアンス	
		事業の成長を支える経営の安全性向上				